

# 平成24年度 焼却灰中の放射性物質濃度測定結果一覧表

- 1、採取場所 西多摩衛生組合 環境センター
- 2、分析機関 株式会社 むさしの計測
- 3、採取方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン(環境省)
- 4、測定機器 ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー
- 5、測定結果

単位: Bq/kg

採取日	飛灰(※1)		
	放射性セシウム合計	放射性セシウム内訳	
		放射性セシウム134	放射性セシウム137
H24.4.26	495	205	290
H24.5.15	616	250	366
H24.6.20	645	263	382
H24.7.10	506	187	319
H24.8.28	408	152	256
H24.9.11	444	158	286
H24.10.10	392	143	249
H24.11.13	440	170	270
H24.12.11	253	93	160
H25.1.7	219	79	140
H25.2.19	159	59	100
H25.3.5	160	60	100

: 災害廃棄物受入後の測定結果です。

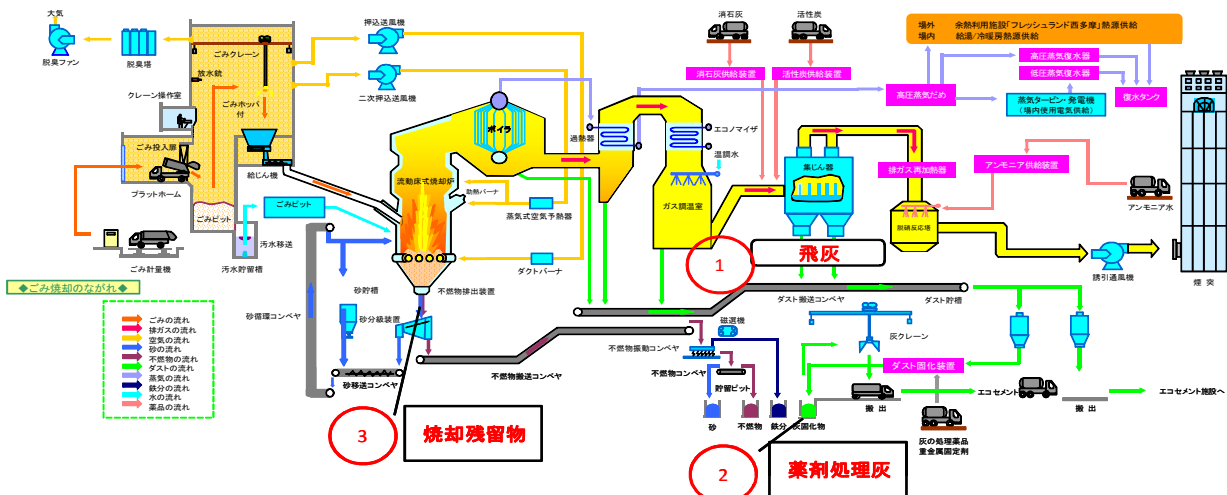
飛灰の放射性セシウム合計は、すべて8,000Bq/kg以下でした。

○今後の測定実施項目としては、法律に基づき飛灰のみの測定をいたします。なお、平成23年度に実施していた薬剤処理灰と焼却残留物の測定は、今後予定しておりません。

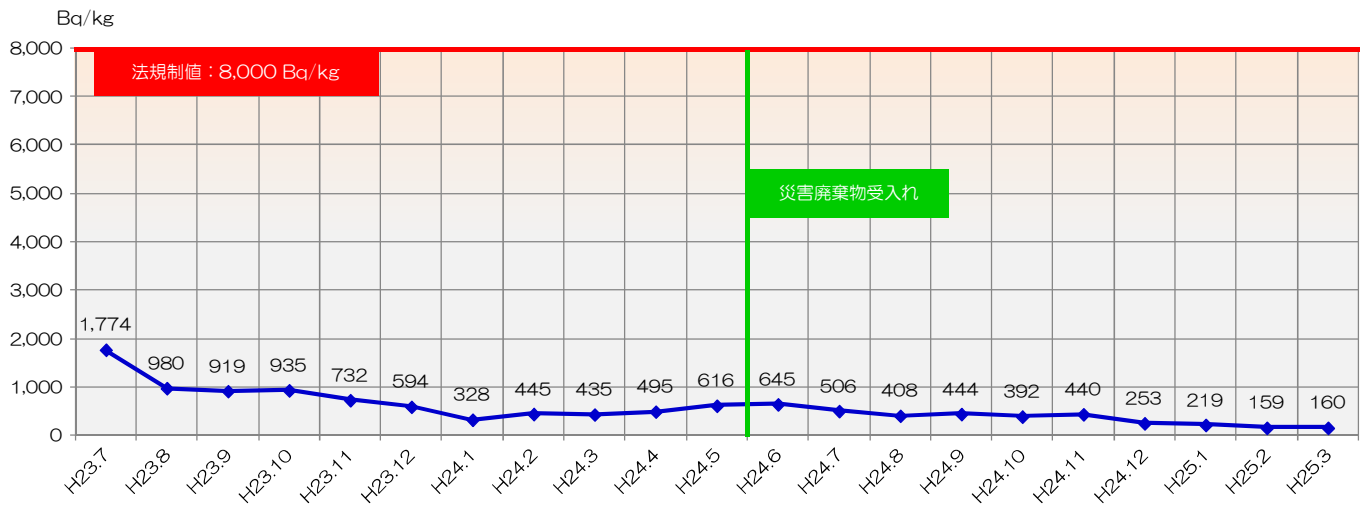
○放射性物質を含む焼却灰の取扱いについては、東京たま広域資源循環組合の「焼却残さの放射性物質に関する日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場東京たまエコセメント化施設における取扱特別協定」により8,000Bq/kg以下の焼却残さは、エコセメント化施設へ搬出することができます。

(※1) 飛灰とは、排ガス中に含まれるダスト(ばいじん)をろ過式集塵機(バグフィルター)などで捕集したものをいいます。また、当組合から東京たま広域資源循環組合のエコセメント化施設へ搬出している灰は、灰を乾燥した状態で搬出している①飛灰と、この飛灰を薬剤処理(重金属固定剤処理)後に搬出している②薬剤処理灰及び焼却炉の底から排出されたガラスや陶磁器等の③焼却残留物となっています。

## 6、飛灰、薬剤処理灰及び焼却残留物の排出口等



## 7、放射性物質の測定結果(飛灰)の推移



※ H23.7月～H24.3月までの詳細な測定結果については、H23年度の測定結果をご覧ください。